

# HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第 2660 地区)

WEEKLY BULLETIN

No.8

## 東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日  
例 会 日 毎週月曜日 12:30~  
例 会 場 所 シェラトン都ホテル大阪3F  
事 務 局 東大阪市小阪本町1丁目5-14  
〒577-0802 小阪本町ロイヤルハイツ405号  
TEL: 06-6753-8823  
FAX: 06-6753-8826  
E-mail: jahcrc@gmail.com



会 長 芝池福子  
会長ノミニー 帆足嘉寿大  
副 会 長 金子勝信  
幹 事 小川高弘

## “ロータリーのマジック”

2024~2025 年度 国際ロータリー会長 ステファニー・アーチック

### 第 2266 回例会 令和 6 年 10 月 7 日 (月曜日) 第 8 号

本日の例会 10月7日(月) 第1例会

◎ソング 「我等の生業」

◎第4回定例理事役員会

本日の献立 フランス肉料理

本日の卓話 イニシャルスピーチ 阪上 武仁

次回の例会 10月21日(月) 第2例会

次回の卓話 名村 美紀

次回の献立 フランス魚料理

前回の例会 9月26日(木) 第2例会

「東輪会合同例会」

於；シェラトン都ホテル4階「大和の間」

ホストクラブ；東大阪西ロータリークラブ

#### 出席報告

本日の会員数 16名

本日の出席者数 10名

出席免除会員数 5名

本日の出席率 93.75%

#### ニコニコ箱報告

芝池福子 本日の東輪会合同例会開催、おめでとう  
小川高弘 ございます。

#### 講 話

「めざそう交通事故ゼロのまち

—安全、安心な東大阪へ」

大阪府布施警察署 交通課長 弓場 昇 様

本日は東輪会合同例会にお招き頂き、皆様の前でお話させて頂ける機会を賜わり誠に有難うございます

。地域や企業のお立場でご活躍されている皆様方には平素から警察行政の各般にわたり、格別のご理解とご協力を頂きまして心より御礼申し上げます。

「めざそう交通事故ゼロのまち—安全、安心な東大阪へ」というのは、本年開催されました東大阪市民会議において取り上げて頂いたテーマです。

#### 「大阪府内と東大阪市内の交通事故の現状・特徴」 [スライドでご説明]

大阪府内の交通事故の状況について、令和元年から本年8月末までの人身交通事故の件数、負傷者数を見ると、コロナ禍が始まった令和2年中から5年中までの件数、負傷者数はほぼ横這いで推移していますが死者数は若干ですが年々増加しています。令和4年中の141名、令和5年中の148名は全国ワースト1です。本年8月末現在は昨年同期と比べて件数、負傷者数、死者数ともに減少し、死者数はマイナス24人です。

東大阪市内については、コロナ禍は大阪府内と同様に推移し、死者数は令和2年中6名、その後13名、11名と3年連続で10名を超えています。本年8月末現在で死者数4名、件数、負傷者数も減少しています。ただ、統計上に出てこない物損交通事故はこれの数倍ありますし、ヒヤッとしたことなど、事故に遭う可能性の確率は少なくありません。

東大阪市内の交通事故の特徴について、3警察署管内とも午前8時前後、午後5時前後の発生が多くなっています。布施警察署管内と河内警察署管内では金曜日、枚岡警察署管内では火曜日の発生が多いで

す。布施警察署管内の最大の特徴は人身事故件数が府下66警察署中ワースト1になったこと、自転車関連事故、65歳以上関連事故、高齢自転車関連事故、二輪関連事故の割合が府下平均よりも高いです。河内警察署管内の特徴は布施警察署管内とよく似ています。枚岡警察署管内の特徴は府下平均よりも高いのは歩行者関連事故、その他はほぼ同様です。キーワードなるのは自転車、高齢者、二輪、歩行者です。

お願い事として、車は急に止まれないということを再認識下さい。時速60キロで走っている車は1秒間に約16.7m進んで、急ブレーキをかけてから止まるまでの距離は32.8mになります。自転車乗車時には大切な命を守るために必ずヘルメットをかぶって下さい。令和5年4月1日の道交法の施行で努力義務になりました。ご家族や周りの方には是非お伝え頂ければと思います。私からの最初の説明は以上です。

### 「自転車の安全利用と事故防止方策」 大阪府河内警察署 交通課長 江口泰祐 様

皆さん、こんにちは。自転車は小さい時から始めて、学生時代は通学に、社会人になったら最寄駅まで乗るといった気軽に利用できて便利な乗り物というイメージがあると思います。趣味のサイクリング、健康促進のためにも気軽な乗り物で、幼児から高齢者まで、年齢幅も広く、多くの方が利用されます。小さいお子さんはルールを教えてあげても守れない、高齢の方は運動能力が落ちてきてバランスが取れなくて転んでしまう、手を着いて骨折する、頭から落ちると大怪我になってしまうこともあります。

自転車関連事故の約8割が自動車との衝突事故、その約5割が出会い頭の衝突事故、お互いの不注意でぶつかって発生する事故が多いです。自転車と歩行者の事故の約4割が、安全であるはずの歩道上で起きています。自転車は車輛の仲間、車道を走りましょう。歩道通行可の道路が減ってきています。車道の青い矢羽根マークは自転車専用ではなく車が走っても違反ではありませんし、路側帯や歩道との区分があるなど、混在するのが自転車です。午前中の買い物に出る時間帯に事故が多いのも特徴です。

自転車乗車時の怪我の主要部位の特徴と、ヘルメット着用の重要性について、事故で亡くなった方の損傷部位、頭の怪我が多く、ヘルメットを着用していない人の致死率は着用している人の約1.9倍、頭部の保護は重篤な怪我を避ける上で非常に大切です。

事故から自分を守るために、1つ目は車輛としての交通法規の順守、例えば歩道は歩行者優先、危険関知、予測するなど色々な配慮が必要です。信号を守らないなどルール無視の事故も結構多く、また、通り慣れた道でも油断しないことです。そしてヘルメット着用の徹底、今は努力義務ですが、今後、違反になる可能性もあります。最後に自転車の点検も大

事です。ライトが点くかどうか、反射材がついていて光ると、相手からも分りやすいです。

自転車は身近で運転免許も必要なく、誰でも乗れて便利です。ただ、交通ルールを守らなければ重大な事故につながります。自転車も人を撥ねて大きな怪我を負わせて加害者側になるような乗り物です。備えとしてヘルメットの着用、保険にも入って頂く、そして大事なことはルールを守って頂くことです。そのために警察でも色々なことをしています。キャンペーンをやって、そこに出て頂くボランティアの方や、見守り活動で小学校の近くに立たれる方がいらっします。そのような活動をこれからも続けていって、そして一人ひとりが自転車のマナーを再認識して、悲しい交通事故を1件でもなくす。送り出した家族が笑顔で帰って来られるようにお話し頂ければと思います。よろしくお願ひ致します。

### 「二輪車の事故防止について」 大阪府枚岡警察署 交通課長 新家大輔 様

皆様、こんにちは。二輪車関連の事故について、全体の件数の2割強、死者数は4分の1、一方で重傷者、1ヵ月以上の骨折等を含めると全体の約3分の1、二輪車の特性として生身の体がむき出しなっていますので、交通事故が発生すれば重傷を負いやすいということです。発生の時間帯、やはり通勤、通学の時間帯、6時から10時、16時から20時、この時間帯に重篤な事故の半分以上が集中しています。年齢別でみますと、免許取り立ての10代後半から20代前半が多く、それに続く年代が50才前後、ベテランドライバーが意外と多くて、この2つの世代で半数弱を占めています。事故の形態は交差点での出会い頭が3分の1です。二輪車の特徴としては右折と直進、右直事故が30%ほどになります。

枚岡警察署管内で今年7月に、外環と呼ばれる国道170号で、原付と大型二輪自動車の右折と直進の交通事故で尊い命が失われました。どちらも信号は青、原付と大型自動二輪の事故です。原付が右折待ちをしていて、対向のトラックが左折し、そのタイミングで発進したら、トラックの後ろを走っていた大型自動二輪が加速して衝突、原付の方が亡くなられて、大型自動二輪の方は重傷を負われました。

右折と直進、直進する二輪車が気を付けることは3つ、速度は出しすぎない。対向車から見て前方を走る車の死角に入らないように車間距離をあける。そして交差点に入ったら、右折待ちしている対向車輛に対してブレーキをかけて予測する。このようなことが重要です。また、直進してくる二輪車に対するドライバーさんの視点から、右折の際、二輪車は実際よりも遠くに感じられるので、正しい距離を把握することが大事です。そして右折待ちの車が行っても、死角に二輪車が隠れているかもしれないと、予測した運転を心掛けて頂きたいと思います。

二輪車の特性について、運転者は視野が狭くなりがち、本来は遠くを見た方が危険を発見しやすいのですが、どうしても路面の確認等で目線が近くに行きやすく、どちらかというと左側に注意が向きやす

く、ミラーが小さくて後ろからの情報が得られにくいという傾向があります。また、相手から認識されにくい、四輪車の死角に入りやすいです。四輪車を運転する時は、しっかりと首を振って安全確認をして頂くことが重要になります。また、対向からの二輪車、実際より遠く、速度も遅く感じる場合がありますので、通過してから行くという癖をつけて頂ければと思います。これは横断歩道の歩行者さんから見ても同じような認識になってしまいます。

今度は二輪車に乗る側の安全対策として予測運転の他には、万が一の事故に備えて胸部のプロテクターの着用が重要となります。二輪車の死亡事故での損傷部位、頭部の損傷が一番多いのですが、次いで胸、肋骨の骨折で臓器に刺さるなどのダメージが多いです。できるだけ体の露出が少なくして、エアバックジャケットというのがあります。また、中高年層の死亡や重傷者数が若年層に次いで多く、なぜかという加齢に伴って身体機能の変化、危険認知、判断、操作と回避、これらの少しの遅れによると思われれます。個人差はありますが、昔よりは反応が鈍っていることをちょっとだけ頭に入れて頂いて、疲労と回復力、集中力を自覚して、運転の時間帯、天候に配慮し、危険を避ける行動をよろしくお願ひします。二輪車は便利で、様々なシーンで活用できる乗り物です。少しの心掛けと気付きで、事故を予防、予測できます。時間にゆとりをもって、運転に余裕をもたすことで事故防止に努めて頂きますようよろしくお願ひ致します。ご清聴有難うございました。

#### **【自転車とヘルメットはワンセット 映像のご紹介】**

「この事故は何故起きてしまったのでしょうか。自転車は原則として車道を走らなければなりません。このように車道と歩道が分かれている道路では自動車と同じように車道の中央から左側の部分を通行しなければなりません。路側帯のある道路では自転車は左側の路側帯を通行することができます。この他、破線と実線で標示された路側帯も通行できますが、実線2本で標示された歩行車用路側帯は通行できません。自転車は例外として歩道に普通自転車歩道通行可の標識があるとき、13才未満の子供や70才以上の高齢者、体の不自由な人が自転車に乗る時は歩道を通行することができます。・・・以下略」

#### **大阪府布施警察署 交通課長 弓場 昇 様**

9月21日から30日まで、全国秋の交通安全運動が行なわれています。お手元のリーフレットを読んで頂ければと思います。我々警察も安全運動を契機にして、これまでの厳しい状況を打開していきたいと考えていますのでよろしくお願ひ致します。

もう一つ、警察からお願いがあります。特殊詐欺に気を付けて下さいということです。府下は前年同期に比べて件数自体は減っていますが、被害額が約1.6倍の約42億円、東大阪市内は前年同期と比べて件数も被害額も増えているという危機的な状況です。特に多い手口は還付金詐欺です。電話がかかってきて、言葉巧みに銀行のATMに誘導されて、そこで大切な預金を振り込まれるという手口が増えています

。そんな形で還付金は返ってこないことを周りの人にもお伝え頂ければと思います。皆様のご支援、ご協力に期待するところがこれからも大きく、なお一層のご尽力を賜わりますようお願い致します。

東輪会の益々のご発展とご参会の皆様のご健勝とご多幸を祈念しまして講話を終わらせて頂きます。